

Enabling The Leading-Edge Technology



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第77期の中間報告書をお届けいたします。

当年度上半期の当社をめぐる事業環境を振り返りますと、データセンターの能力増強需要やスマートフォンの高性能化を背景に、各半導体メーカーでより高性能な半導体の量産に向けたテスト・システム投資が積極的に行なわれ、非常に活況な上半期となりました。

このような環境のもと、当社は、製品需要の一層の取り込みと市場シェアの向上、生産能力増強に取り組みました。これらの結果、当年度上半期の受注高は1,468億円、売上高は1,436億円、営業利益は338億円、当期利益は301億円となりました。

今後の事業環境につきましては、スマートフォンの基幹部品であるアプリケーション・プロセッサ向け、ディスプレイ・ドライバIC向けで継続的なテスト・システム需要を見込んでいます。また、メモリ半導体向けでも一定のテスト・システム需要が維持される見通しです。これらを踏まえ、2018年度通期の連結業績予想につきましては、受注高を2018年7月時点における2,200億円から2,550億円へ、売上高を2,300億円から2,650億円へ、営業利益を345億円から530億円へ、当期利益を278億円から460億円へ、それぞれ上方修正しました。

また、2018年度の中間配当金は、1株につき50円としました。

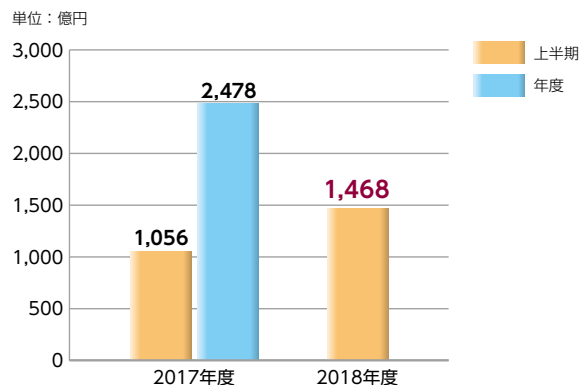
今年度の売上高新予想の2,650億円は、過去最高売上高の18年ぶりの更新にチャレンジするものです。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト (2018年度上半期)

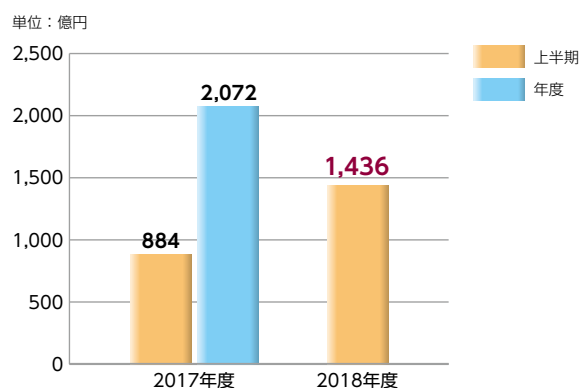
受注高 1,468億円 前年同期比 39.0%増

スマートフォンの基幹部品であるアプリケーション・プロセッサやディスプレイ・ドライバICなどの高性能化を受けてSoCテスト・システム需要が大きく伸び、当社全体の受注増を牽引しました。



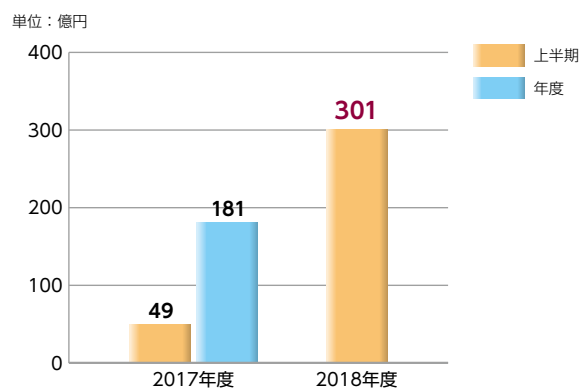
売上高 1,436億円 前年同期比 62.4%増

スマートフォン、AI、自動車など、半導体の用途があらゆる分野へ拡大していることと、それら半導体の高性能化が進んでいることで、特にSoCテスト・システムやメモリ・テスト・システムの売上高が伸びました。

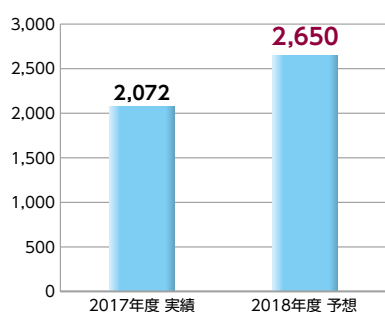


当期利益 301億円 前年同期比 6.1倍

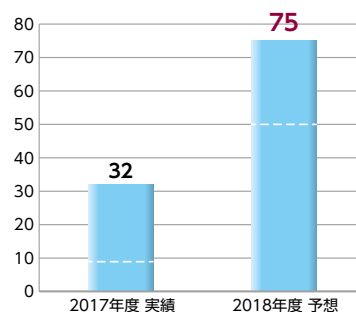
当社製品に対する需要が拡大するなかにあっても、業務効率の改善に並行して取り組み、販売管理費の一層の効率改善に努めたことなどで、当期利益は301億円(同6.1倍)と、前年同期比で大幅増益となりました。



単位：億円 **2017年度・2018年度売上実績／予想**



単位：円 **1株当たりの年間配当金実績／予想**



※ 詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.advantest.com/ja/investors/ir-library/financial-result-presentation>

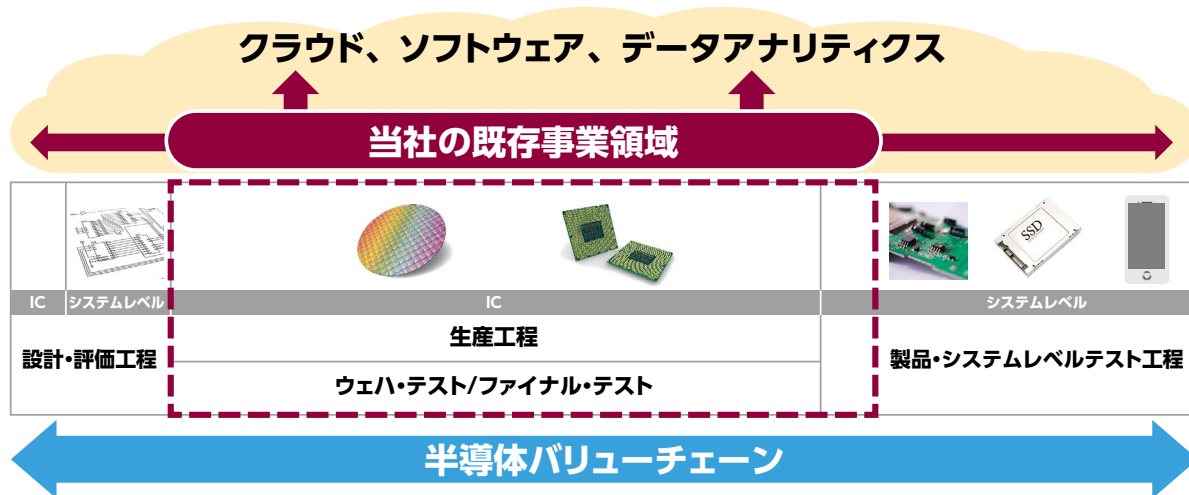


中長期経営方針

ブランドデザイン(10年)

ビジョン：進化する半導体バリューチェーンで顧客価値を追求

当社の既存事業領域の近縁市場である、半導体設計・評価工程や製品・システムレベルテスト工程へと事業領域を広げることで、業容の拡大と企業価値向上を目指します。



売上シナリオ：シェアを年1%ペースで改善

成長分野へのフォーカス、顧客とのパートナーシップ強化により、年1%のペースでシェアを上げていくことを目指します。

FY2017(実績)	億円
テスト市場	3,630
当社市場シェア	36%
売上高	2,072

保守的シナリオ

テスト市場成長率 年 0% 成長前提

FY2027(予)	億円
テスト市場	3,800
当社市場シェア	46%
既存事業	2,400
新規事業	600
売上高	3,000

ベース・シナリオ

テスト市場成長率 年 4% 成長

●半導体と同ペースでテスト市場も成長

FY2027(予)	億円
テスト市場	5,800
当社市場シェア	46%
既存事業	3,400
新規事業	600
売上高	4,000

コスト、利益構造：バランスのとれたコスト構造

売上成長を目指すにあたり、コスト構造のバランスにも配慮します。

	FY2017(実績)
売上高	2,072億円
売上原価率	49%
売上高販管費比率	40%
(うちR&D費比率)	16%
営業利益率	11%



3,000億円レベルでのコスト構造モデル	
売上高	3,000億円
売上原価率	46%
売上高販管費比率	32%
(うちR&D費比率)	13%
営業利益率	22%

中期経営計画(3年)

数値目標(3年平均): 利益だけでなく、資本の効率的活用も推進

当社では、期間損益の改善と資本の効率的活用の双方を意識し、KPIとして、売上高、営業利益率、ROE、1株当たり当期利益(EPS)を用います。

	FY2012-2014 平均	FY2015-2017 平均	中期経営計画 (FY2018-FY2020 平均)	
			保守的シナリオ	ベース・シナリオ
売上高	1,360億円	1,751億円	2,300億円	2,500億円
営業利益率	-8%	9%	15%	17%
ROE	-7%	12%	15%	18%
1株当たり 当期利益(EPS)	-51円	74円	135円	170円

※2019年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債(300億円)全額転換の場合

期間損益の改善と資本の効率的活用を共に推進

- 売上高、営業利益率、ROE、1株当たり当期利益(EPS)をKPIとして管理

財務方針

●健全な財務基盤の維持

安定的なフリー・キャッシュ・フロー創出

- ・3年間で850億円～1,000億円

最低現金保有レベル

- ・短期的なリスク対応力として、ネットキャッシュ500億円～600億円を保有
- ・超過資金は成長投資、M&A等の事業投資に優先的に活用

●中長期的な投資による企業価値向上

研究開発投資

- ・年間300億円以上を研究開発に継続的に投資

M&A投資枠

- ・1,000億円
- ・半導体バリューチェーンにおけるソリューション拡充

株主還元

●還元方針

- ・半期連結配当性向30%
- ・長期にわたり留保された余剰資金は、配当性向の見直し、自己株式取得等の総株主還元を検討

【注意】

●会計基準について

本中間報告書に記載されている見通し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

●将来の見通しに関する記述について

本中間報告書にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。

これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

アドバンテストのものづくり

アドバンテストの主力製品である半導体テスト・システムは、部品点数が100万点を超えるものもあり、高いものづくり力が求められます。ここでは、当社のものづくりのこだわりをご紹介します。

▶ アドバンテストの工場ツアー動画はこちら

<https://www.advantest.com/ja/about-advantest/offices-facilities-location-and-map#GUmovie>



こだわり①▶ 日本トップクラスのはんだ付け技術



▲ 生産本部 製造技術課 佐々木 雪乃 (2015年 IPCはんだ付けコンテスト日本大会優勝)

基板上的電子部品の大半は自動機で実装されます。しかし高度なものづくりの世界では、機械を超えた職人技も求められます。熟練者なら大半の部品は1分もあればはんだ付けできます。

担当者の声

熱に弱いなど、自動機で扱えない部品は人の手ではんだ付けします。最近の部品はどんどん小さくなり、肉眼ではほぼ見えないものもありますが、部品の進化に負けずに技術を磨いて、製品品質をはんだ付けで支えていきたいと思っています。

こだわり②▶ 徹底した情報共有



部品の確保、製造のトラブル、製品の出荷日変更など、生産工程をめぐる状況は日々変化します。

当社群馬工場では毎朝20分ほど関係者が一堂に会し、工程会議を行っています。

直接顔を突き合わせ対話することで、詳細な情報ももらさず共有。工場一丸のチームワークでお客様に製品をお届けします。

こだわり③▶ 市況変化に柔軟に対応できる生産体制



長年培ってきたものづくりの技術を、韓国やマレーシアの自社工場、社外の製造受託会社にも展開して生産しています。

半導体テスト・システムの世界的な需要拡大、また、市況の変化にも柔軟に対応できる生産体制を構築しています。

第28回理科工作教室を開催

アドバンテストは、地域社会から愛されるための活動を継続して行っています。



群馬R&Dセンタ(群馬県邑楽郡明和町)で、事業所周辺の小学生を対象に「第28回理科工作教室(ペットボトル・ロケット教室)」を開催し、40名の小学生が参加しました。

2005年から続いている当社の理科工作教室は、のべ受講児童数が2,347名に達しました。

アドバンテストは、今後も子どもたちにもものづくりや科学技術の楽しさを伝えていきます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1丁目1番 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.advantest.com/investors/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)	

特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL. 0120-49-7009 (フリーダイヤル)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきまして、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社の概要 (2018年9月30日現在)

商号	株式会社アドバンテスト ADVANTEST CORPORATION
本店	東京都千代田区丸の内1丁目6番2号
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング TEL. 03-3214-7500

設立	1954年12月2日
従業員	4,547名(連結) ※上記従業員には、派遣社員等を含んでおりません。
上場	東京証券取引所第1部(コード: 6857)

ADVANTEST®

<https://www.advantest.com/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング
TEL. 03-3214-7500



環境に配慮し、植物油インクを使用しています。